

参 考

- 用語説明
- 参考ホームページ一覧
- 委員名簿
- 開催状況

【い】

○ 医療保険者

我が国の医療保険制度では、国民は公的医療保険に加入することになっているが、その公的医療保険の実施者をいう。公的医療保険は、病院等の医療機関の受診により発生した医療費について、その一部又は全部を医療保険者が給付する仕組みであり、地域住民を対象とし市町村が医療保険者となる国民健康保険などがある。

【き】

○ 気分障害

ある程度の期間にわたって持続する気分（感情）の変調により、苦痛を感じたり、日常生活に何らかの支障をきたしたりする状態のこと。うつ病などがある。

【け】

○ 健康格差

地域や社会経済状況の違いによる集団における健康状態の差のこと。

○ 健康寿命

一生のうち、健康で支障なく日常の生活を送れる期間のこと。

健康寿命の算定は、

厚生労働科学研究 健康寿命のページ 「健康寿命算定プログラム」

<http://toukei.umin.jp/kenkoujyummyou/> を参照している。

算定に必要な基礎資料として、当該市町村の性・年齢階級別の人口、死亡数（人口動態統計）、要介護2～5の認定者数などのほか、同一年次における全国の人口、死亡数と生命表が用いられる。

○ 健康ちば協力店

メニューの栄養成分表示や、健康・栄養情報等の提供をしたり、ヘルシーオーダーに対応できる飲食店を「健康ちば協力店」として登録しています。

○ 健康余命

平均余命のうち、健康で支障なく日常生活を送れる年数(期間)のこと。

【こ】

○ 合計特殊出生率

15歳から49歳の女性の、年齢別出生率を合計した指標。一人の女性が平均して一生の間に何人の子供を産むかを表す。

○ 構音

構音とは音声学で言う調音のことで、一般的には発音と呼ぶ。咽頭から口腔・鼻腔までの呼吸の通り道の形をかえたりすることで出された音声を変化させ言語音にすること。

【さ】

○ 残存機能

病気や障害による影響を逃れ、活用することができる残された機能のこと。

【そ】

○ 咀嚼（そしゃく）

食べ物を口の中でかみ切る、砕く、すりつぶすなどして、飲み込みや消化をしやすくすること。

○ 咀嚼・嚥下機能

食べ物を口から食べ、飲み込む機能のこと。

○ ソーシャルキャピタル

地域のネットワークによってもたらされる規範と信頼を意味し、地域共通の目的に向けて協働するモデルとされ、社会資本と訳されている。しかし、それは施設等の物的な社会資本ではなく、行政・企業・住民を結び付ける人間関係、市民関係のネットワークであり、社会関係資本、共同関係資本とも言うべき性格を有している。

具体的にはボランティア活動や官民連携など幅広い横型ネットワークによって支えられており、地域を支える主体の社会的応答性を高める仕組みでもある。

【た】

○ 胎児性アルコール症候群

妊娠中の母親が飲酒するとアルコールやその代謝物が胎盤を通過して胎児の血中に移行し、胎児に発育遅滞や器官形成不全などを生じることがある。自然流産につながる場合もあるが、出生に至った場合、影響は学童期以後にも及び、学習、衝動コントロール、対人関係の障害となっていく。

【と】

○ 特定給食施設

継続的に1回100食以上又は1日250食以上の食事を供給する施設で、健康増進法において施設設置者の届出が義務付けられている給食施設。

○ 特定健診・特定保健指導

特定健康診査を省略して特定健診と言い、メタボリックシンドロームの早期発見を目的とした健康診査をいう。特定保健指導は、特定健診でメタボリックシンドローム、あるいはその予備群とされた人に対して実施される保健指導をいう。

特定健診・特定保健指導は平成20年4月から「高齢者の医療の確保に関する法律」により、医療保険者に義務付けられている。

【ね】

○ 年齢調整死亡率

死亡数を人口で除した通常の死亡率（粗死亡率）を比較すると、各地域の年齢構成に差があるため、高齢者の多い地域では高くなり、若年者の多い地域では低くなる傾向がある。このような年齢構成の異なる地域間で死亡状況の比較ができるように年齢構成を調整した死亡率が年齢調整死亡率（人口10万対）である。この年齢調整死亡率を用いることによって、年齢構成の異なる集団について、年齢構成の相違を気にすることなく、より正確に地域比較や年次比較をすることができる。

【は】

○ 廃用症候群

安静状態が長期に渡って続く事によって起こる、心身の機能低下等を指す。「生活不活発病」とも呼ばれる。

○ ハイリスクアプローチ

疾患を発症しやすい高いリスクを持った者を対象として絞り込んで対処していく方法のこと。

【ふ】

○ 不安障害

不安が強く、行動や心理的障害をもたらす症状を総称して不安障害と呼ぶ。

○ フッ化物

フッ素を含む化合物のこと。むし歯予防に利用されるのは、主にフッ化ナトリウムやリン酸酸性フッ化ナトリウムなどである。

【へ】

○ 平均寿命

0歳の平均余命を平均寿命という。

○ 平均自立期間

平均余命のうち、日常生活に介護を要しない期間のこと。

- 算定に要介護者数を用いることから、介護保険の申請状況や要介護度の判定方法が結果に強く影響する。従って、平均自立期間を絶対的な値として厳密に解釈せず、相対的にみる必要がある。

○ 平均余命

基準となる年の死亡状況が今後変化しないと仮定したときに、各年齢の者が平均的にみて今後何年生きられるかという期待値をあらわしたものをいう。

○ ベイズ推計値

出現数の少なさに起因する影響を減少させ、地域間比較や経年比較に耐えうる、より安定性の高い指標を求めめるため、統計手法により得られた数値。

【ほ】

○ ポピュレーションアプローチ

対象を一部に限定しないで集団全体を対象として対処し、集団全体で危険因子を下げる方法。

【め】

○ メタボリックシンドローム

内臓脂肪症候群とも呼ばれ、内臓脂肪型肥満に加えて高血糖、高血圧、脂質異常のうち二つ以上が重なる状態をいう。まだ病気とは診断されない「ちょっと高め」の状態でも併発することで、急速に動脈硬化が進行し、心臓病や脳卒中の危険性が急激に高まる状況を引き起こす。

○ メンタルヘルス

精神面における健康のことである。心の健康、精神衛生、精神保健と称され、主に精神的な疲労、ストレス、悩みなどの軽減・緩和とそれへのサポート。

【ゆ】

○ 有意

統計上の用語で、「確率的に偶然とは考えにくく、意味があると考えられる」ことを指す。

【ら】

○ ライフステージ

人間の一生において節目となる出来事（出生、入学、卒業、就職、結婚、出産、子育て、退職等）によって区分される生活環境の段階のことをいう。

【ろ】

○ ロコモティブシンドローム

運動器官の障害によって日常生活で人や道具の助けが必要な状態やその一歩手前の状態をいう。運動器官とは筋肉、関節、骨など、人が移動するために使う器官のことを指す。

筋力が低下したり、関節に疾患があったり、骨がもろくなっていたりすると、運動機能が低下し日常の生活に不便が生じる。こうした運動機能の低下は高齢期に入ってからではなく、初期症状は40代から始まると言われており、中年期からロコモティブシンドロームを意識し予防する必要がある。

【B】

○ BMI（Body Mass Index）

肥満度を表す指標として一般的に用いられている。

$BMI = \text{体重 [kg]} \div (\text{身長 [m]})^2$ により算出。BMI < 18.5 低体重（やせ）、

$18.5 \leq BMI < 25$ 普通体重（正常）、 $BMI \geq 25$ 過体重（肥満）（日本肥満学会肥満症診断基準検討委員会、2000年）

【C】

○ COPD

たばこの煙を主とする有害物質が長期に気道に触れることによって起きる炎症性の疾患で、主な症状としては、咳・痰・息切れがあり、緩徐に呼吸障害が進行し、喫煙者の20%がCOPDを発症するといわれている。

○ CPI

地域歯周疾患指数（ちいきししゅうしっかんしすう、Community Periodontal Index:CPI）は歯周病に関する指数の一つ。集団の歯周疾患の罹患状態の評価を簡便に調査でき、歯周疾患の地域保健対策に適しているとされる。

【N】

○ NCD (Non Communicable Disease)

世界保健機関（WHO）は、不健康な食事や運動不足、喫煙、過度の飲酒などの原因が共通しており、生活習慣の改善により予防可能な疾患をまとめて「非感染性疾患（NCD）」と位置付けている。循環器疾患、がん、糖尿病、慢性呼吸器疾患などが主なNCDといえる。

NCDは世界的に中・高齢者で急増しており、2008年の世界の死亡数5,700万人のうち63%にあたる3,600万人がNCDにより死亡している。WHOは2030年までにこの数はさらに増加し、5,500万人に達すると予測している。

慢性疾患の発症や悪化は、個人の意識と行動だけでなく、個人を取り巻く社会環境による影響が大きいため、これらの疾患について単に保健分野だけでなく地域、職場等における環境要因や、経済的要因等の幅広い視点から包括的に施策を展開し、健康リスクを社会として低減するための対策が求められ、「NCD対策」として捉えることが世界的な潮流になっている。

【Q】

○ QOL (quality of life)

一般に、ひとりひとりの人生の内容の質や社会的にみた生活の質のことを指し、ある人がどれだけ人間らしい生活や自分らしい生活を送り、人生に幸福を見出しているか、ということを経験としてとらえる概念である。物理的な豊かさやサービスの量、個人の身辺自立だけでなく、精神面を含めた生活全体の豊かさと自己実現を含めた考え方として用い、生きがいや幸福感なども含め、一人ひとりが望む生活の質を高めることを指す。

参考ホームページ一覧

- (1) 健康日本21
<http://www.kenkounippon21.gr.jp/>
- (2) 平成23年人口動態統計（確定数）の概況
<http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/kakutei11/>
- (3) 生活習慣に関するアンケート調査（千葉県）
<http://www.pref.chiba.lg.jp/kenzu/press/2011/eng-h23.html>
- (4) 県民健康・栄養調査（千葉県）
<http://www.pref.chiba.lg.jp/kenzu/toukeidata/h22eiyou.html>
- (5) 特定健診・特定保健指導に係るデータ収集、評価・分析事業 集計結果（速報）
<http://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/toukeidata/kenshintoukei.html>
- (6) 千葉県保健医療計画（改訂中）
- (7) 千葉県地域福祉支援計画
<http://www.pref.chiba.lg.jp/kenfuku/keikaku/kenkoufukushi/2chiiki.html>
- (8) 千葉県高齢者保健福祉計画
<http://www.pref.chiba.lg.jp/koufuku/keikaku/kenkoufukushi/5ki/hokenhukusikeikaku.html>
- (9) 千葉県体育・スポーツ推進計画
<http://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/taiiku/sports/shougaisports/sports-plan11.html>
- (10) 千葉県がん対策推進計画（改訂中）
- (11) 千葉県食育推進計画
<http://www.pref.chiba.lg.jp/annou/press/h24/syokuiku/keikaku-sakutei.html>
- (12) 千葉県医療費適正化計画（改訂中）
- (13) 千葉県自殺対策推進計画
<http://www.pref.chiba.lg.jp/kenzu/kokoro/zisatukeikaku.html>
- (14) 千葉県歯・口腔保健計画
<http://www.pref.chiba.lg.jp/kenzu/kuchi/hakeikaku.html>
- (15) 千葉県次世代育成支援行動計画
<http://www.pref.chiba.lg.jp/jika/sougou/jisedai/koudoukeikaku.html>
- (16) 健やか親子21
<http://rhino.med.yamanashi.ac.jp/sukoyaka/>
- (17) 市町村別の100歳以上人口
<http://www.pref.chiba.lg.jp/koufuku/press/100sai/h24hyakusai.html>
- (18) 喫煙による健康被害についての調査研究
<http://www.health-net.or.jp/tobacco/risk/rs360000.html>